

令和7年度 事業別 予算要求概要

事業名	科学館補修費
経過	・令和7年度に開館20周年となり、設備の故障・劣化、部品・消耗品の生産終了等により、毎年何らかの設備の更新・修理が必要になってきている。
目的	・科学館の来館者が安全・安心に科学館を利用できる環境を維持する。
課題	・設備の故障等により、一部のサービスを提供できなくなる恐れがある。
内容	<p>○天文台 65cm 望遠鏡制御 PC 更新</p> <p>現在、望遠鏡制御用 PC は、開館当初に設置した WindowsXP のパソコンを 19 年以上使用している状況である。望遠鏡の制御は手動ではできないので、故障した場合、望遠鏡が使用できなくなり、故障してからの補修となった場合、修理期間に 3～4 か月を要し、その間天文台は利用休止となる。</p> <p>○屋内照明設備改修(LED 化)</p> <p>科学館常設展示室のメインの照明は、水銀灯ランプを使用しているが、水銀灯ランプは 2020 年に生産終了しており、水銀灯ランプの入手はできなくなることから照明灯具の更新は必須の状況である。</p> <p>○プラネタリウム LED 化</p> <p>プラネタリウムの星空を投影するカールツァイス社製の光学式投影機は光源にハロゲンランプを使用（3～4 か月で交換）している。各種ハロゲンランプは、各メーカーにて順次生産終了となっており、今後入手はできなくなることから更新は必須の状況である。光源をハロゲンランプから LED に変更する場合は、投影機の光源システムと制御システム（ソフトウェアほか）を高輝度 LED 対応に転換する必要がある。</p> <p>○プラネタリウム棟カーテンウォール補修</p> <p>プラネタリウム棟カーテンウォール（ガラス壁）を支持しているゴム材及び木材の経年劣化により、風雨が強めの日に雨漏りが発生しているため、補修が必要である。</p>

令和7年度 事業別 予算要求概要

事業名	科学館事業活動費
目的	・市民の科学に対する理解促進を図り，生涯学習の場を提供するため，未就学児から高齢者まで，幅広い世代を対象としてイベント，講座を実施する。
課題	・体験メニューの大部分は，事前申込制を採用しているが，糸のこ体験は，予約なしで参加でき，好評を博していることから，自由参加型事業の拡大が必要である。
内容	<p>○予約なしで参加可能なワークショップの充実</p> <p>来館者の多くは，体験メニューについて事前に調べることなく訪れていることから，ふらっとコーヒーショップなどに立ち寄るような感覚で，用意されたメニューの中から自ら選択して工作を体験することで学びを深め，完成品を来館の思い出として持ち帰ることができる新たなワークショップ「ふらっとワークショップ」を開催する。</p>